



秋田ノーザンハピネッツの長谷川選手（手前中央）
らが講師を務めたクリニック（比内体育館）

SC大館^{など}

プロが指導、技術学ぶ

秋田NH
選手招く

ミニバスの強化練習会

プロバスケットボールBリーグ・秋田ノーザンハピネッツ（NH）の選手を講師に招いた「U12ミニバスケットボール強化クリニック」は29日、大館市比内体育館で開かれた。市内のスポーツ少年団に所属する小学5、6年生48人が参加し、実戦を想定した練習でプロの選手やコーチから助言を受けた。

スポーツコミッション大館（SC大館）と市スポーツ協会などの主催。国の補助金を

活用して各種競技のクリニックを開いている。今回はミニバス男子の選手を対象に、初めてNHを招いたクリニックを企画した。競技方向と選手の親睦を図る狙い。

NHから能代工業高出身の長谷川暢選手、ワン・ウェイシヤ選手、奈良篤人アシスタントコーチが訪問。ドリブルや基本的なシュートの練習で、実戦を想定して指導した。レイアップシュートの練習では「顔の横でボールをプロ

テクトして」と助言。ドライブの際には「ディフェンスが対応してきたら、一度止まってタイミングをずらしてみ」と丁寧に教えた。

選手を交えたら5対5の試合も行い、小学生たちは生き生きとした表情で意欲的に取り組んでいた。仙台樹さん（扇田小6年）は「上手な人たちの練習はとても勉強になった。ディフェンスの練習が難しかった。今後に生かしたい」と話した。